

# Jabber for Windowsでオーディオキャプチャダンプを収集する方法

## 内容

[概要](#)

[実行手順](#)

[Audacityでオーディオを再生する方法](#)

## 概要

このドキュメントでは、Jabber for Windowsの音声品質の問題のトラブルシューティングに役立つように、Windows PCでオーディオパケットをファイルの場所にダンプするように設定する方法について説明します。多くの場合、管理者とCisco Technical Assistance Center(TAC)のエンジニアは、Jabberユーザが発信者を明確に聞くことができない、またはその逆の問題をトラブルシューティングします。これらの問題のすべてが、Jabberの障害に対応しているわけではありません。これらの問題は、Windowsオペレーティングシステム、ネットワークインターフェイスカード(NIC)またはパーソナルコンピュータ(PC)のオーディオドライバが原因で発生する可能性があります。次のドキュメントは、管理者またはTACエンジニアがJabberの音声品質の問題を切り分けるのに役立ちます。

## 実行手順

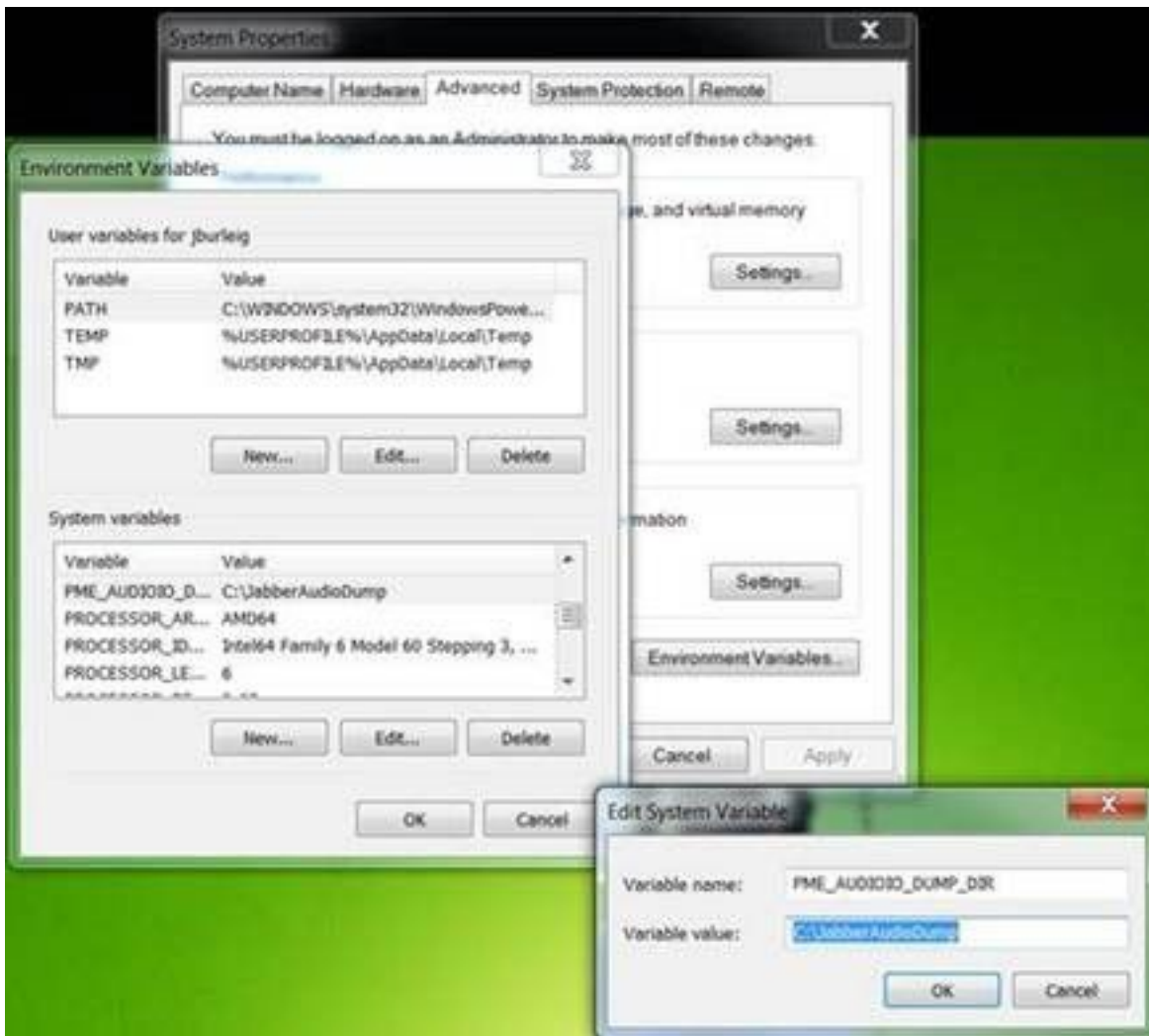
**ステップ 1:** まず、エンドユーザのPC上にディレクトリを作成して、オーディオダンプを保存します。

- 例 : C:\JabberAudioDump

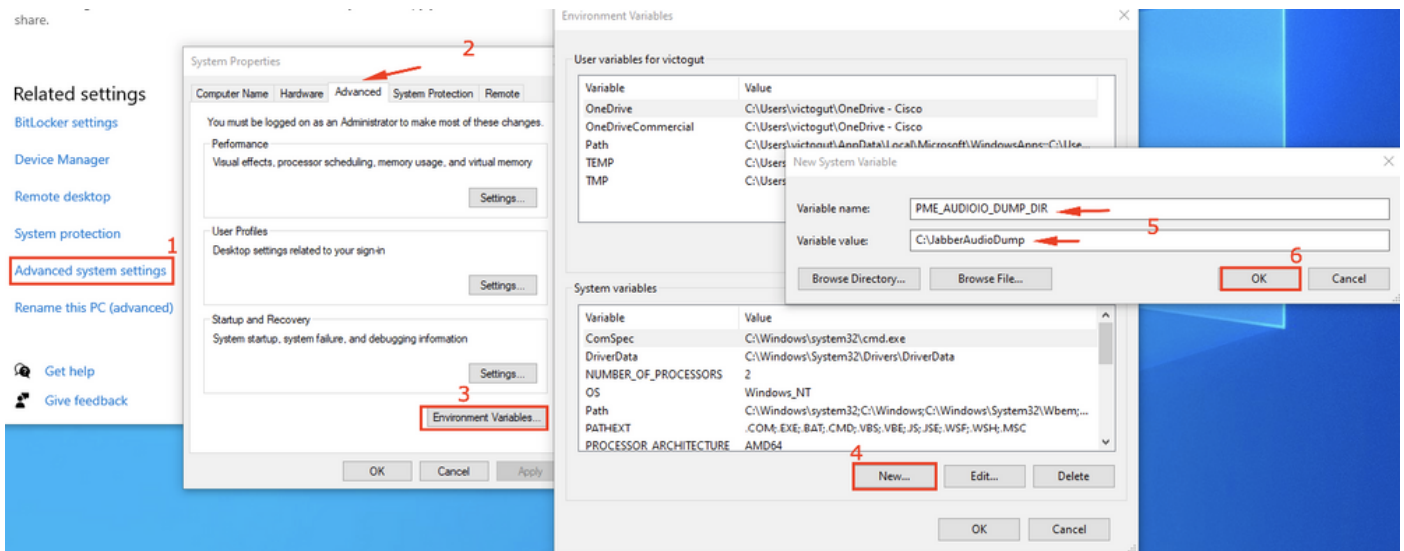
**ステップ 2:** ユーザPCでPME\_AUDIOIO\_DUMP\_DIRという名前の環境変数を設定します。

- ダンプを保存するディレクトリに環境変数の値を設定します。例 : C:\JabberAudioDump [スタート] > [コンピュータ]を右クリック > [プロパティの選択] > [システムの詳細設定]を選択します。 [System Properties]ウィンドウで、 [Advanced]タブを選択します 環境変数の選択 [New]を選択します

以前のWindowsバージョンの場合 :



新しいWindowsバージョンの場合：



ステップ3:PCでJabberが実行されていないことを確認します。

ステップ4： Jabberを起動し、音声の問題を再現する

ステップ5： ステップ1で作成したディレクトリに移動し、これらのファイルが存在することを確認します。

- ダンプには7つのファイルが含まれています。

Audioiostatistics.txtringbuffer\_capture.txtringbuffer\_playout.txtmInFromMic.raw ( jabber側のローカル音声 ) mInFromNetwork.raw ( リモート側からの音声 ) mOutToSpeaker.raw ( リモート側からの音声 ) mOutToNetwork.raw ( jabber側のローカル音声 )

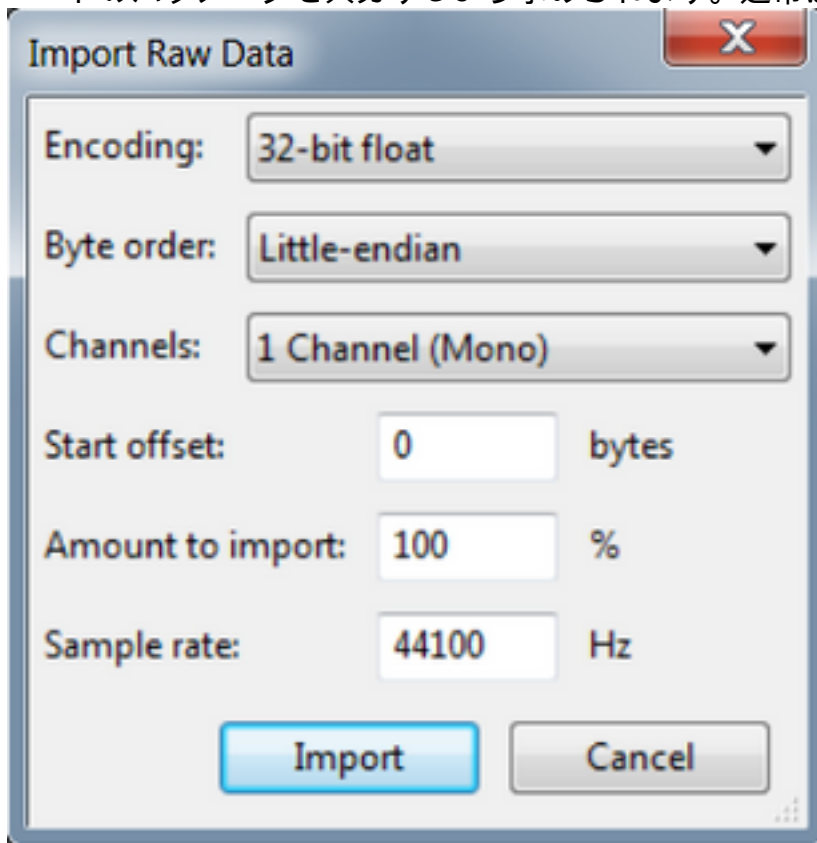
手順6: TACで作業していて、すべてのファイルが正しく作成されている場合は、.rawファイルがかなり大きくなる可能性があるため、ディレクトリを圧縮します。Jabber問題レポートとオーディオダンプファイルをケースファイルアップロードに[アップロード](#)します。

## Audacityでオーディオを再生する方法

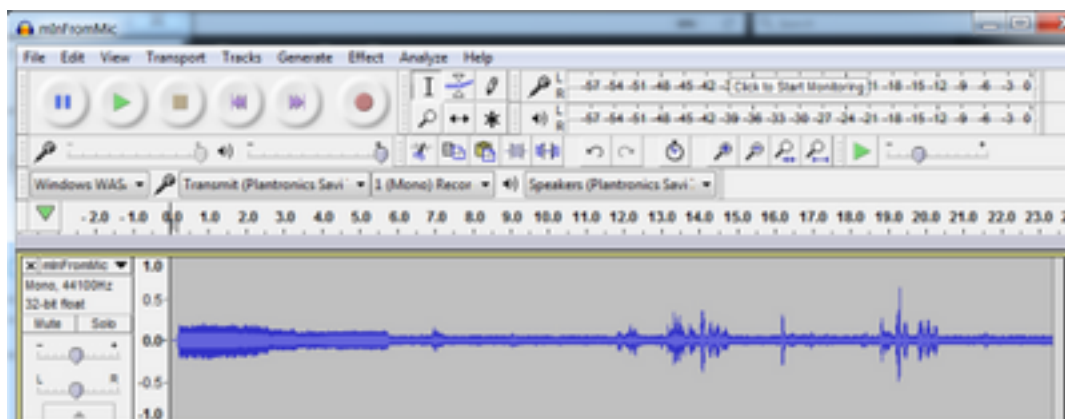
ステップ1: Audacityの起動

ステップ2: .rawファイルをAudacityにインポートする

- Audacityで、「ファイル」>「インポート」>「Rawデータ」に移動します。 .rawファイルが保存されているディレクトリに移動し、リッスンする.rawファイルを選択します。 インポートのパラメータを入力するよう求められます。通常はデフォルト値で十分です。



ステップ3: 次に、再生ボタンを押してオーディオを再生できます。



注：オーディオの再生が速すぎるか、遅すぎる場合は、アプリケーションの下部にある Hzレベルで再生し、再生を高速化または減速できます

